

# 安城ロータリークラブ



# 週報

【No.607 2013/9 第4例会】

例会日：毎週金曜日

例会場：碧海信用金庫本店3F

安城市御幸本町15-1

TEL:0566-75-8866

FAX:0566-74-5678

Email:anjo-rc19580206@katch.ne.jp

HP: <http://www.anjo-rc.org>

## 第2748回例会

2013年9月27日(金) 12:30~13:30

司会者：野村 繁雄君

ソング：「君が代」「奉仕の理想」「四つのテスト」

卓上花：クジャク草・ブルーファンタシア・リンドウ

ゲスト及びビジター：ガバナー 田中 正規様  
地区幹事 榊原 勝俊様



2013-2014年度RIテーマ：

「ロータリーを實踐し、みんなに豊かな人生を」

安城ロータリークラブ会長方針：

「充実したロータリーライフを楽しもう。」

■会長：都築 雅人

■幹事：神谷 研

■クラブ会報：青山竜也・川合昭道・加藤英明

■創立日：S33年1月10日

■RI加盟認証日：S33年2月6日

## ■会長挨拶

都築 雅人会長

安城ロータリークラブ会長の都築雅人です。本日はガバナー公式訪問で、安城ロータリークラブと三河安城ロータリークラブとの合同例会です。田中正規ガバナーは、西三河分区出身のガバナーとしては、1999～2000年度の野村重彦パストガバナー以来14年ぶりとなります。それでは田中正規ガバナーを正式にご紹介申し上げます。

### ◆プロフィール

生年月日 1948年7月25日  
所属クラブ 西尾ロータリークラブ  
職業分類 病院  
勤務先・役職 医療法人 西尾病院 理事長  
ロータリー歴  
1991年4月 西尾ロータリークラブ入会  
2000～2001年 第43代クラブ幹事  
2007～2008年 第50代クラブ会長  
2002～2005年 地区財団奨学委員会 委員  
2005～2006年 地区財団奨学委員会 副委員長  
2010～2011年 西三河分区IM実行委員長  
2011～2012年 ガバナーノミニー  
2012～2013年 ガバナーエレクト

### 経歴

1973年 久留米大学医学部 卒業 名古屋大学医学部 第2外科入局  
1980年 医学博士取得 聖霊病院 外科勤務  
1983年 医療法人 田中会 西尾病院 外科勤務  
1986年 医療法人 田中会 西尾病院 院長  
1992年 医療法人 田中会 西尾病院 理事長  
2009年 社会福祉法人 誠正会 理事長

### 公職

2006年 西尾幡豆医師会 会長



西尾幡豆医師会長を務めてみえた頃、私も安城市医師会長をしていました。元来団結力や結束色が強い西三河地区で一緒に仕事をさせて頂き、懇意にして頂きました。そのため親近感を持ってご歓迎申しあげることができて、大変嬉しく感じています。

本年度、安城ロータリークラブは「充実したロータリーライフを楽しもう」をキャッチフレーズに、職業奉仕と親睦を基本に活動していますが、異なる職種の会員との交流によって、己を高めることもロータリーの大きな目的の一つだと思います。田中ガバナーの「磨いて 輝こう」という基本方針についての本日のお話を参考にして、これからの活動に生かしていきたいと思っておりますので、ご指導を宜しくお願い致します。

### 【10月のクラブ内例会・委員会予定】

- 4日 卓話者 米山奨学生 ニー・ニー・エイさん
  - \* 第4回定例理事会
  - \* 国際奉仕委員会 例会終了後
- 11日 卓話担当 亀島深里さん  
卓話者 半田ロータリークラブ 松石 奉之(まついしともゆき)様  
テーマ「ブータン王国から学ぶ幸福の価値」
- 18日 クラブフォーラム 広報委員会・会員増強委員会
- 25日 安城市長 神谷学様来訪  
安城RC七夕飾りへの感謝状授与および卓話「新美南吉生誕100年について」

### 《10月の行事予定・地区会議》

- 3日 親睦活動委員会打ち合わせ 14:00～マリオットアソシアホテル16階アゼリア
- 6日 RLI会議 9:30～17:00 星城大 永谷会長エレクト
- 8日 第2回安城RCゴルフコンペ ザ・トラディション  
ロータリー財団委員会13:30～ガバナー事務所分室 神谷財団会計長
- 17日 米山カウンセラー研修会 14:00～キャスルプラザ 奥田米山カウンセラー
- 18日 地区大会企画委員会 13:30～ガバナー分室  
省名直前地区大会実行委員長 奥田直前地区大会幹事  
社会奉仕委員会14:00～名鉄グランドホテル 内藤社会奉仕委員長
- 29日 七親会ゴルフコンペ ロイヤルカントリークラブ
- 31-11/1 東日本大震災PJ委員会 東北(仙台市)視察 石川博地区東日本大震災PJ委員

## ■ 幹事報告

神谷 研幹事

- ・11/9.10東日本復興支援活動を行いますので、御参加ください。また炊き出し練習を11/7(木)に行います。
- ・ゴルフ部会より 10/8安城コンペ・10/29七親会・11/17ガバナー補佐杯の登録料を集金しております。
- ・10月のロータリーレートは、1ドル=100円です

## ■ 報告事項



【4000万円達成クラブ】  
公益法人ロータリー米山記念奨学会より  
感謝状の授与

## ■出席報告

成瀬 克久君

### 恒例により100%

会員	59名
出席義務者	48名
出席	38名
欠席	10名
出席免除者の出席	9名
出席率	82.45%
修正出席率	9月6日 第2745回 91.07%

## ■ニコボックス報告

小林 逸朗君



## ■ガバナー公式訪問

田中正規 ガバナー

こんにちは。安城ロータリークラブは昨年度、地区大会のホストをつとめられお疲れさまでした。三河安城ロータリークラブは今年15周年を迎えることで、節目の年です。おめでとうございます。私は隣町からやってきて、今日の訪問はとても楽しみにしていました。また、都築会長とは昔からの知り合いで、なんでも言い合える仲ですが、今日はロータリーのことしか話しません。古くからの会員の方も見え、ロータリーに関する知識は豊富にお持ちだとは存じますが若い会員の方もいらっしゃいますので、ロータリーの歴史について少しお話をしたいと思います。

### ●ロータリーの歴史

ロータリークラブは、1905年に弁護士のポール・ハリスが、商業道徳も倫理観もなく混沌とした時代のシカゴにおいて、ファーストネームで呼び合える真の友人がほしいと考えて3人の仲間と一緒に設立しました。鉦山技師ガスター・バスロア、石炭商シルベスタ・シール(初代のシカゴRC会長)仕立屋ハイラム・ショーレイ、そして、弁護士ポール・ハリス。この4人で始めましたが、のちに二人は辞めました。シカゴにあるビルの一室において4人で例会を開催した日、1905年2月23日がロータリー創立の日とされています。

ロータリーは、もともと己を慰めて自分達の利益を追求するための集まりでした。しかし、仲間を増やそうとした時に、「自分勝手に、奉仕をしないクラブには入らない」という声が上がリ、次第に奉仕活動に取り組み始めました。最初に社会奉仕として行ったのは、1909年シカゴ市内に公衆トイレを建設したことでした。様々なところから反対の声があがりましたが、1917年にはアーチC.クランプリ会長が、世界で良いことをするために基金の設置を提案しました。これに寄せられた最初の寄付金はわずか26ドル50セントでした。後に国際ロータリーを支えるロータリー財団が設立され、2017年には財団創立100周年になります。1919年には第1回国際協議会がシカゴで開催されました。その年、フィリピンではマニラRCがアジアで初めて設立され、加盟しました。ちなみに今年の当地区地区大会にRI会長代理としてお越しになるのがフィリピンマカティウエストR.C.のアントニオ・ラフィエノパストガバナーです。1921年には東京R.C.が加盟・承認されました。その2年後の9月1日、関東大震災が起こり、10万人を超える死傷者が出ました。その際、世界中のロータリアンから贈られた多額の寄付に東京RCは驚き、自らも被災者支援活動を行いました。日本のロータリアンが人道奉仕活動に目覚めた瞬間です。ロータリークラブが団体奉仕を否定すれば、その後のポリオプラスや米山奨学会もなかったでしょう。I serveかWe serveかの議論は不毛です。1943年にはハーバード・テナーによる四つのテストを採択しました。1945年には49名のロータリアンが国連憲章の起草に貢献しました。こうした国連設立当初からのロータリーによる支援は、国連各機関との協力関係に寄与したのです。1946年には東京RCに大きな貢献をした米山梅吉が亡くなり、翌1947年には創設者ポール・ハリスが亡くなっています。戦争突入が避けられなくなっていた1940年にロータリーを脱退していた日本は、1949年に再承認されました。この後の歴史を駆け足で辿ると、1950年に米国ミシガン州デトロイトで開催された国際大会では、「超我の奉仕」と「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という2つの標語が正式に承認されました。1952年は東京RCが米山梅吉の偉業を讃え、奨学事業の構想を立案、1957年に東京RCの単独事業として始まった奨学事業が全国のロータリーの共同事業となりました。そして、この年はロータリー財団が財団プログラムの寄付者に対し、ポール・ハリス・フェローをはじめとする認証プログラムを設置しました。1967年には文部省管轄の財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されています。



## ●国際協議会にて

話を今日の時点に戻します。私は本年1月14日から19日まで、米国カリフォルニア州サンディエゴで開催された国際協議会にガバナーエレクトとして夫婦で参加しました。2012-13年度は30年ぶりに日本人の田中作次さんがRI会長になり、日本からの理事や研修リーダーの方々も大変熱が入っていました。日の丸と共に君が代が会場に響いたことに大変感激をしました。また翌日、日本のガバナーエレクトが壇上で「手に手つないで」を合唱したことは非常に良い思い出として心に残っています。理事の紹介後、RI会長ロン・バートンさんの紹介と挨拶があり、今年度のテーマを「ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES」と発表しました。日本語訳は「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」です。私は「ロータリーに積極的に参加し、自分と周りを磨き上げ、輝かしい人生に変えていこう」と理解しています。会長は534名のガバナーエレクトと握手をして写真を撮りました。これには3日間という時間が必要で、手が腫れてしまったそうです。日本人朝食会では、私はロン・バートン会長の正面になり、会話する機会に恵まれました。会長は「ロータリーが他の団体と違う点は、高い倫理基準を推進していることです。だからこそロータリーは信用に値すると、他の団体に認めてもらえます」とお話をされました。

## ●RI戦略計画、三つの重点項目

ロン・バートン会長はRIの戦略計画、財団の未来の夢計画にも中心となって関わってきました。RIの戦略計画はロータリーの方向を決定づける重要な計画です。その中では異なる国や地域におけるロータリーの状況を調べ、各地域の強み、改善点、課題を決定しています。

重点項目としては ①クラブのサポート強化 ②人道的奉仕の重点化と増加 ③公共イメージと認知度の向上があります。より充実したプロジェクトを行うと、より大きな影響が出ます。会員と支援者の増加に結び付き、支援の拡大につながります。それを引き継いで公共イメージの向上につながり、寄付が増加し、クラブの強化につながります。さらに、より充実したプロジェクトへという時計回りに良いことづくめとなり、活性化につながります。

クラブのサポート強化は、1.クラブの刷新性と柔軟性を育てる 2.さまざまな奉仕活動に参加するよう奨励する 3.会員の多様性を増進する 4.会員の勧誘と維持を改善する 5.リーダーを育成する 6.ダイナミックな新クラブを結成する 7.クラブと地区における長期計画の立案を奨励するということが提唱されています。

戦略計画は地区だけではなく、クラブ単位で3年、5年先のクラブのあり方を検討していただくこととなります。人道的奉仕の重点化と増加において、ロータリーが重きを置いているのはポリオ撲滅運動です。いまでも乳幼児にはポリオの予防接種を行っており、地域の接種率を高める必要があります。インドでは撲滅したとされていますが、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンではまだ進行形です。11月には久屋大通でポリオ撲滅を一般の方々に訴えるために、ロータリアンが集まって「ワールドフードフェスタ」を開催しますので、是非積極的にご参加下さい。

また、青少年奉仕プログラムとロータリー財団の6つの重点分野について、奉仕の持続性を高めることも語られています。青少年奉仕プログラムとはインターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換。ロータリー財団の6つの重点項目とは、他の団体との協力や繋がりを深める。会員の勧誘と維持を改善する。地元と海外の地域社会に多大な成果をもたらすプロジェクトを創造するなどがあります。公共イメージと認知度の向上は、1.イメージとブランド認知を調和させる 2.行動を主体とした奉仕を推進する 3.中核となる価値観を推進する 4.職業奉仕を強調する 5.クラブにおけるネットワークづくりの機会、ならびにクラブ独自の主な活動について周知を図るようクラブに奨励するというものです。この中で語られている中核となる価値観とは奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップであり、これらがロータリアンを108年も支えてきたDNAです。この根っこがあるから社会奉仕、職業奉仕、青少年奉仕も花となって咲きました。

ブランドの強化は、ロータリーとは何であるか、何をしている団体かをロータリアン以外の人にも伝え、活動と目標を多くの人々に伝える方法を改善することです。ロータリーのルーツを伝え、ロータリーのユニークさを伝え、ロータリーのメッセージを伝えて下さい。それがロータリアンやクラブの意欲を高めるようになります。



## ●RIの強調事項と地区の重点項目

RIの強調事項は三つあります。①会員の増強 ②ロータリー財団を通じた人道的奉仕の充実 ③ロータリー・ファミリーを通じたネットワークの強化です。

ロータリー財団を通じた重点分野は6つあります。1.平和と紛争予防/紛争解決 2.疾病予防と治療 3.水と衛生 4.母子の健康 5.基本的教育と識字率向上 6.経済と地域社会の発展です。この重点項目にのみクラブと海外との共同作業でより大きなプロジェクトが実施出来るようにとグローバル補助金がもらえます。

私は、いままでお話ししてきた内容などを踏まえ、当地区の重点項目を①会員意識の向上 ②クラブのパワーアップ ③地区の改革 ④会員増強とさせていただきます。会員の意識向上は、ロータリーを日常的に意識し、学び、例会、地区大会、国際大会に参加することから始まります。クラブのパワーアップは、効果的で人道的な奉仕活動を行うことにより連帯意識が生まれ、それがパワーの源になると考えます。ロータリー財団はロータリーのためにあると理解し、ロータリー財団への寄付に協力して下さい。また、クラブや地区で将来のリーダーとなる人を育てる必要があります。

地区の改革については、委員会と委員の定数を削減し、スリム化を図りました。会員増強は永遠のテーマです。毎年会員の年齢は1歳ずつ上がっていき、高齢化します。会員増強を絶えずしないと自然に減少し、クラブ活動も機能低下しますので重要課題だと認識しています。第2760地区のキャッチフレーズは「磨いて輝こう」です。1年間よろしくお願ひします。ロン・バートン会長は、「ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES」はアーサー・シェルドンが唱えた「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」と同じ意味だと語っています。ロータリーは変わっていません。一人ひとりが奉仕することで、自分自身も、クラブも、世界も幸せになります。どうかこの一年間、磨いて輝いて下さい。

## ◆謝辞◆

三河安城ロータリークラブ 寺部保美会長  
本日は、田中ガバナー、榊原地区幹事にお越しいただき心より、御礼を申し上げます。RIテーマ『ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を』について分かりやすい説明、貴重なお話をいただきありがとうございました。第2760地区のロータリアンとして、今後一層ロータリーの精神を邁進していきたいと存じます。田中年度の事業が活発に展開されるよう、精一杯協力することを誓い、お礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。



田中ガバナーと榊原地区幹事



三河安城RC 寺部 保美会長



三河安城RC 山本 彰秀幹事